

霍公鳥ほととぎすの喧なくを聞ききて作つくる歌うた一首

四一一九番

古いにしへよ　しのひにければ　ほととぎす　鳴なく声こゑ聞き
きて　恋こひしきものを

京みやこに向むかはむ時ときに、　貴人うまひとを見みまた美かほよき人ひとに逢あ
ひ飲いん宴えんせむ日ひのため、　懐おもひを述のべ儲まけて作つく
る歌うた二首

四一二〇番

見みまく欲ほり　思おもひしなへに　纒かづらかげ　かぐはし
君きみを　相見あひみつるかも

四一二一番

朝参てうさんの　君きみが姿すがたを　見みず久ひさに　鄙ひなにし住すめば　我あれ
恋こひにけり